

令和7年度 シラバス

教 科	数学	科 目	数学Ⅰ	学 年	第1学年	学 科 類 型	商業科
単位数	2単位	教科書	新編 数学Ⅰ、新編 数学Ⅰ サポートブック（第一学習社）				
副教材	スタディ 数学Ⅰ（第一学習社）						

学習目標	数と式、2次関数、集合と論理について理解させ、数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学に対する興味・関心を高めるとともに数学を活用していく能力を身に付けます。
------	--

キャリア教育の視点	粘り強く考えることにより問題が解けたときの喜びを通して、自己肯定感を高めていきます。 数学を通して身に付けた論理的思考力を活用して、他者に筋道を立てて説明する力を養っていきます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4 月	1 章 数と式	二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的に捉えることや目的に応じて式を適切に変形できるようにします。 数を実数まで拡張する意義を理解し簡単な無理数の四則計算をします。 不等式の解の意味や性質について理解し、一次不等式の解を求めたり事象の考察に活用したりします。	中間考査
	5 月	1 節 式の展開と因数分解 ①整式 ②整式の加法・減法 ③整式の乗法 ④因数分解		
	6 月	2 節 実数 ①実数 ②根号を含む式の計算		期末考査
	7 月	3 節 1 次不等式 ①不等式 ②不等式の性質 ③ 1 次不等式の解法 ④連立不等式		
2 学 期	8 月	2 章 2 次関数	事象から 2 次関数で表される関係を見出すことや、グラフの特徴について理解できるようにします。 2 次関数の値の変化についてグラフを用いて考察したり、最大値や最小値を求めたりすることができるようにします。 2 次方程式の解と 2 次関数のグラフとの関係について理解するとともに、数量の関係を 2 次不等式で表し、2 次関数のグラフを利用してその解を求めることができるようにします。 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにします。	中間考査
	9 月	1 節 2 次関数とそのグラフ ①関数 ② $y=ax^2$ のグラフ ③ $y=ax^2+q$ のグラフ ④ $y=a(x-p)^2$ のグラフ ⑤ $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ		
	10 月	⑥ $y=ax^2+bx+c$ のグラフ		期末考査
	11 月	⑦ 2 次関数の最大・最小 ⑧ 2 次関数の決定		
	12 月	2 節 2 次方程式・2 次不等式 ① 2 次方程式の解		
3 学 期	1 月	② 2 次関数のグラフと x 軸の共有点 ③ 2 次不等式	関数のグラフを利用してその解を求めることができるようにします。 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにします。	学年末考査
	2 月	4 章 集合と論理 1 節 集合と論理		
	3 月	①集合 ②命題 ③証明法 総合演習		

学習の方法	授業の中でまず教科書の内容を理解していきます。その後問題集を用いて演習を行い、授業内容が理解できているか、自分の力で解くことができるかを確認していきます。 予習・授業・復習の良い流れを作り、計画性をもって学習に取り組んでいきましょう。
-------	--

評価の仕方	定期考査の得点と平常点で算出します。 平常点は、課題・小テスト・ノート、及び授業に取り組む姿勢などを考慮して評価します。 その際、知識・技能や思考・判断・表現や主体的に学習に取り組む態度も考慮します。
-------	--

備考	
----	--